

## 電波時計について

### 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせします。

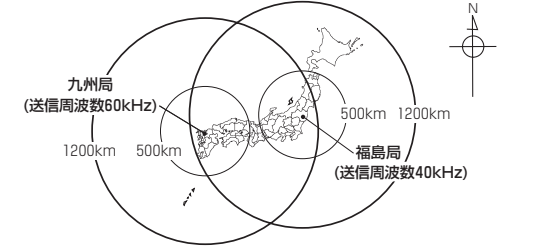
### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、通信総合研究所が運用している電波です。標準時の信号は、通信総合研究所の維持する国家標準により常に高い精度に保たれています。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、通信総合研究所のホームページをご覧ください。(http://jjy.crl.go.jp)

### 電波の受信範囲について

条件のよい時は、送信所から約1200km離れた場所でも受信可能と想定されます。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

### ■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



※受信範囲内であっても、設置場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件では受信できない場合があります。
※電波障害により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示することがあります。

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

#### ●修理部品の保有について

この時計の修理用**性能部品**(電子回路)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、**外装部品**(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。なお、都合により商品を現品交換させていただく場合もあります。

#### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

#### ●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

## 製品仕様

時 間 精 度	● 標準電波の受信に成功している場合 表示精度:±1秒 ● 標準電波を受信できなかった場合 平均月差 ±30秒以内(常温中のクォーツ精度)
使 用 温 度 範 囲	−10℃～+50℃(0℃～+40℃表示可読範囲)
電 源	●ソーラーセル(光発電セル) ●内蔵蓄電池：リチウム電池 ML2016 ●内蔵予備電池: リチウム電池 CR2477 ※1日1時間程度蛍光灯の光を受けた場合:電池寿命 5年以上
機 能	●時計機能：12時間(午前 午後表示)／24時間表示切替式 ●カレンダー表示：西暦、月、日、曜日表示範囲(2002年1月1日～2099年12月31日) (うるう年は自動調整) ●アラーム鳴り時間:約2分間 ●アラーム音：4段階電子音 ●自動電波受信：1日8回 ●温度測定範囲：−9.9℃～+50℃まで

※時計に付いている電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※0℃～+40℃の範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合がありますが、時計精度には影響ありません。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

	分解したり改造しないでください。故障の原因になります。
--	-----------------------------

#### ■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別記保証書を発行する場合は、この限りではありません。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)。

ご贈答・転居などにより、お買い上げ店での保証が受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。尚、送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

受付年月日	修 理 内 容	確 認 印

## お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたら**お客様相談室**にお問い合わせください。お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、製品の裏面などに表示してあります製品番号(型番)をご確認のうえ、お問い合わせください。(例:8RZ〇〇〇など)

■お客様相談室
フリーダイヤル ☎0120-557-005  
☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-299-12

札幌支店 ☎003-0030 札幌市白石区流通センター1-6-2 ☎(011)863-3788  
仙台支店 ☎983-0045 仙台市宮城野区宮城野 2-10-36 ☎(022)291-3235  
北関東支店 ☎370-0862 高崎市片岡町3-2-12 エコ-マンションF ☎(027)322-7892  
東京支店 ☎110-0005 台東区上野6-16-22 上野T Gビル5F ☎(03)5807-7814  
名古屋支店 ☎460-0008 名古屋市中区栄 5-19-31 ☎(052)264-4581  
大阪支店 ☎542-0081 大阪市中央区南船場 2-7-30 ☎(06)6264-2388  
広島支店 ☎730-0054 広島市中区南千田東町 1-12 ☎(082)244-7774  
福岡支店 ☎816-0097 福岡市博多区半道橋 1-11-14 ☎(092)471-5585 Y0406

所在地・電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**  
本社 〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-299-12  
http://www.rhythm.co.jp

<p style="text-align:center">GUARANTEE</p> <h2 style="text-align:center">保証書</h2>	
<p>取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。</p>	
※品名・型番	
※保証期間	お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様ご氏名	様
ご住所	
TEL ( ) -	
※販売店所在地	
※店 名	
<p>本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。 ●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。●この保証書は国内のみ有効です。 This guarantee is valid only in Japan. ※印は販売店記入</p>	
取扱説明書番号 8RZ016-4	

## CITIZEN.

## 電波時計 デジタル目覚まし時計

## 取扱説明書/保証書

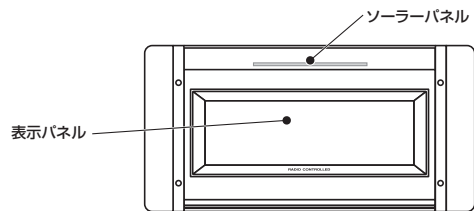
<p>アフターサービスについて</p>	<p>お買い上げいただきありがとうございます。●お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。●お読みになった後も、必ず保存してください。</p>
<p>全国自動受信</p>	

<p>■海外での電波時計の使用について</p> <p>この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。手動で時刻合せをして使用していても、まれに日本標準時を受信し、日本の時刻を表示してしまう恐れがあります。</p> <p>■Regarding Overseas Usage of The Radio Wave Clock This clock is intended for use within Japan. It is not suited for overseas use. Even if the time is adjusted manually, Japan time may still be displayed due to infrequent reception of Japan standard time signals. <b>This clock can only receive Japan Standard Time signals.</b></p>
--

CITIZENはシチズン時計株式会社の登録商標です。

## 各部の名称

※図は操作説明用ですので、商品によりデザインなどが異なる場合があります。



【正面図】 液晶表示の見え方

時計正面やや上方より見たときによく見えるタイプの液晶パネルを使用しています。下方および横方向からは表示が見えにくくなります。

スピーカー用音穴

戻るボタン

進むボタン(兼用) 表示切替ボタン

手動で時刻合わせするときやアラーム時刻設定するときを使用します。進むボタンは12/24時間制表示の切り替えボタンも兼用しています。

アラームスイッチ 指定時間に鳴らするとき、または鳴っているアラームを止めるときに使用します。

【裏面図】

アラーム合わせボタン

アラーム時刻を設定するときを使用します。

時刻合わせボタン 手動で時刻合わせをするときに使用します。

電源スイッチ

時分/月日表示切替ボタン

リセットボタン

強制受信ボタン 場所などを変えて受信を試みるときに使用します。

## 表示パネルの照明について

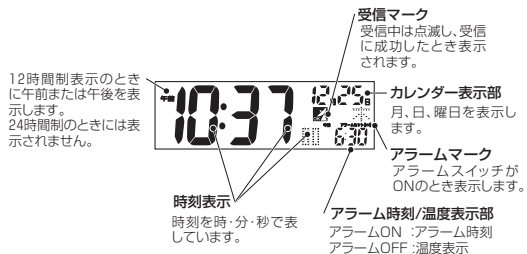


- 表示パネル裏面に蓄光があります。蓄光が発光することにより、表示パネル部を照明します。
- 蓄光は紫外線を含んだ光(蛍光灯など)により励起され発光します。白熱電球などは紫外線が少ないため光源として適していません。
- 発光時間は、60ワット以上の蛍光灯の光を1.5m以内で30分以上直接当てたとき、2〜3時間お手元で発光が確認できます。
- 蓄光の特徴として、時間の経過とともに明るさが低下します。
- 目視による発光の確認は、視力などの個人差、周囲の明るさ、時計との距離により影響を受けます。

## 静電気による誤作動について

静電気により、内蔵されているマイコンが誤作動し、時刻違いなどが発生することがあります。この場合は、時計裏面にある「リセットボタン」をボールペンなどの先の細いもので押して、現在時刻およびアラーム時刻を再設定し直してください。

## 表示パネルの表示内容の説明

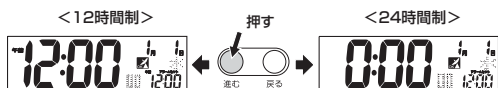


## 時刻/月日優先表示の切替方法について



○時刻/月日表示切替ボタンを押すことにより、表示を交互に切り替えることができます。

## 12/24時間制表示の切替方法について



○進むボタンを押すことにより、12時間制と24時間制の表示を交互に切り替えることができます。12時間制の場合は、午前または午後の表示がされます。 ※受信中、現在時刻およびアラーム時刻の設定をしているときには操作できません。

## ソーラーパネルおよび電源について

この時計は、ソーラーパネルに光を受けて発電した電気を補助電源として使用しています。

- ソーラー式電卓が使える明るさのところで1日1時間以上充電させてください。
- ソーラーパネルは屋内用ですので、直射日光など強い光を受けるとソーラーパネルの発電効率が悪くなりますので、強い光を当てないでください。
- 長期間使用しないときには、電源スイッチをOFFにしてください。内蔵電池の消耗を押さえます。電源スイッチをOFFにした場合、設定したアラーム時刻は失われます。

## [1]電源スイッチを入れ、受信を開始します



①電源スイッチを「ON」にします。短くアラーム音が鳴ります。

②リセットボタンを先の細いボールペンなどで押します。短くアラーム音が鳴り、受信を開始します。

※誤作動を防ぐため、必ずリセットボタンを押してください。

③窓際など電波を受信しやすいところに置いてください。

受信中は受信マーク  が点滅します。



受信中は受信マーク  が点滅します。

## 温度とアラーム時刻表示について

アラームスイッチがONのときは、設定されているアラーム時刻を表示します。

※アラームスイッチがOFFでも、アラーム時刻は設定できます。

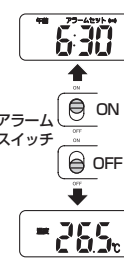
アラームスイッチがOFFのときには、温度を1分ごとに測定して表示します。

測定誤差 0〜+40℃の範囲で±2℃以内

測定範囲 -9.9〜+50℃

測定範囲外るとき 低温：LL 高温：HHを表示

※周囲の温度を反映するには時間がかかります。



## [2]受信結果を確認します

受信マークの状態を受信結果を確認できます。

受信中  受信には最長10分程度かかります。

受信に成功  受信に成功した場合、受信マークが表示されます。

受信に失敗  受信に失敗した場合、受信マークが消えます。

受信に失敗  受信に失敗した場合は、「電波を受信できない場合」をお読みください。

受信に失敗  受信に失敗した場合は、「電波を受信できない場合」をお読みください。

受信に失敗  受信に失敗した場合は、「電波を受信できない場合」をお読みください。

## [3]アラームの使い方

### アラーム(目覚まし)時刻の合わせ方

- 操作ボタンの説明
- 進むボタン・戻るボタンは押し続けると速く動きます。
  - ①② 12時間制表示のときは午前または午後を表示。24時間制では非表示。
  - ③ 12時間制表示のときは午前6時30分に設定しています。
  - ④⑤ 12時間制表示のときは午前6時00分、24時間制では非表示。
- ①アラーム合わせボタンをアラーム時刻の「時」が点滅するまで約2秒間押し続けます。
  - ②進むボタンまたは戻るボタンを押して「時」を合わせます。
  - ③アラーム合わせボタンを押します。アラーム時刻の「分」が点滅します。
  - ④進むボタンまたは戻るボタンを押して「分」を合わせます。
  - ⑤アラーム合わせボタンを押します。アラーム時刻が設定されます。
- ※「時」または「分」を設定中に、約30秒間「進む」または「戻る」ボタンの操作をしないとアラーム時刻合わせを終了します。このとき表示されている時刻が設定されます。
- ※時刻表示が12時間制と24時間制の2通りありますので、表示に注意して時刻を合わせてください。
- ※電波を受信中に、アラーム時刻合わせをする受信を中止します。
- ※アラーム時刻合わせ中は、強制受信はできません。

### アラームスイッチの使い方

- ON
- アラームマークが表示され、設定した時刻にアラームが鳴り出します。
- OFF
- アラームマークが消灯し、アラームは鳴りません。アラームが鳴っているときには、アラームが止まります。アラーム時刻から温度表示に切り替わります。
- アラームは、約2分間鳴り続けて自動的に終了します。(アラームオートストップ機能)

## 電波を受信できない場合

- 時刻が合わない場合 時計裏面の強制受信ボタンを押して、1〜10分間そのまま待ちます。
- 朝までそのままにしておく 夜間は電波状況が良くなるので、一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す 電波の受信しやすい窓ざわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直します。次に、時計裏面の強制受信ボタンを押して、1〜10分間そのまま待ちます。 ※受信に成功すると正しい時刻を表示します。

### 受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

- 手動での時刻の合わせ方 基本操作手順
  - ①時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
  - ②西暦の年を設定します。
  - ③月を設定します。
  - ④日を設定します。
  - ⑤「時」の桁を設定します。
  - ⑥「分」の桁を設定します。
 西暦など数値を設定するときには、進むまたは戻るボタンを使用します。進むまたは戻るボタンを押し続けると早送りになります。次の設定に移るときには時刻合わせボタンを押します。
- ※手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻・カレンダーを修正します。
- ※約30秒間ボタン操作がされなかったときには、自動的に中止して、通常の表示に戻ります。このとき、内容は更新されません。
- ※受信できない場合の時間精度はクォーツ精度になります。

操作例は、2002年1月1日から2003年12月25日午前10:37に合わせています。



秒は⑩の進むまたは戻るボタンを押したとき、0秒になります。

## Q & A (こんなときには)

- Q  受信マークが表示されない。
- A 標準電波を受信できる環境にないことを表しています。対策 次のようなことを試してください。
1. 窓の側など比較的電波の届きやすいところで試してみる。(場所により、電波の状態が変わります)
  2. 朝夕および雨天など電波が弱まる時を避けて試してみる。(時間帯や天候によっても電波の状態が変わります)
- Q ときどき  受信マークが点滅する。
- A 1日に8回自動受信し時刻修正をする間に表示されます。
- Q  受信マークが消えた。
- A 標準電波を受信した後、24時間以上受信に成功しなかったことを意味します。もう1度受信すると復帰します。マークが消えてもクォーツ精度で時計は動いています。
- Q  受信マークが後日表示された。
- A 最初は  受信マークが表示されなくても、後に再受信に成功すると表示されます。
- Q 目覚ましセットした時刻に鳴らない。
- A 次の点を確認してください。
1. 目覚まし時刻または現在時刻の午前と午後が逆になっていませんか? この時計は12/24時間制表示を選択できるようになっています。もう一度確認してください。
  2. アラームマーク (●) が表示されていますか? 表示されていない場合は、目覚ましスイッチをONにしてください。

- Q  受信マークが表示されているのにテレビなどの時報と一致しない。
- A つぎのような原因が考えられます。
1. 表示精度が±1秒以内となっています。これ以上の誤差がある場合は、強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。また、電池が消耗している場合も、誤作動の原因になりますので、ソーラーパネルが発電できるように、光を長い時間当ててください。このとき、直射日光を当てないでください。ソーラーパネルを痛めるおそれがあります。
  2. 家電製品やOA機器などからのノイズにより、誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して、受信し直してください。繰り返し誤受信する場合は、設置場所を変えるなどの対応をしてください。
- Q 目覚ましの音を聞きたい。
- A 目覚ましスイッチをONにし、アラーム時刻を現在時刻より1分程度進めた時刻に合わせてください。時刻が合うと、目覚まし音が4段階でテンポアップしながら鳴ります。
- Q リセットボタンと強制受信ボタンの違いは?
- A リセットボタンは初期設定を行なう時、誤表示をしたとき、すべてのデータをクリアするとき押しします。強制受信ボタンは、電波のみを再受信する時に押しします。(この場合、セットしたアラーム時刻は保持されています。)
- Q 今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。
- A 標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波(送信停止)することがあります。停波に関する情報は「通信総合研究所」のホームページに掲載されています。ホームページアドレス <http://jijy.crl.go.jp>